

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400143		
法人名	有限会社ジュコウ		
事業所名	あつたか広場一会 1ユニット		
所在地	静岡県島田市東町1116		
自己評価作成日	令和元年6月10日	評価結果市町村受理日	令和元年8月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2295400143-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2295400143-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和元年7月3日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所の理念でもあります「一期一会」を大切に利用者様だけでなく地域の方々一人ひとりにも多くの人に認知症の予防や啓発ができるよう一昨年から行っている認知症サポーターはもちろん昨年から、認知症カフェや島田市独自で行っている介護予防「しまトレ」を開催し、地域に密着した活動に全力で取り組んでいます。新人育成研修や定期的なミニユニット研修や外部講師による身体拘束や虐待についての研修、外部講習への参加等を積極的に研修を实地し職員の質の向上に努めています。また昨年からアセッサーの資格の習得を2名行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年度から畑の整備と職員教育に力を入れていて、教育ではアセッサー2名が誕生の予定となり、畑は花壇と見紛うばかりの美しさです。野菜が届くといった小さな近所づきあいから地区社協との協働事業まで地域と深く関わり、また第三土曜日開催のオレンジカフェには15~20名、毎週実施のしまトレ(しまだ市っ歌りげんき体操)は27名の登録者の半数が常連参加となり、他にも代表者や管理者がキャラバンメイトとして認知症サポーター養成研修を担当したり、障害者雇用の推進など社会貢献に満ち満ちています。職員も「ここはとても働きやすい」と定着していて、その点でも安心な事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全体会議・フロア会議にて地域密着サービスの意義・事業所の理念について話し合い共有実施につなげている	「まごころこめた介護～」は目に入る場所に掲げ、会議などを通じて代表者が言い続け、職員に浸透しています。特に一人ひとりの利用者のことを家族のように親身になっている様子を見るにつけ、職員の言動に反映していることが伝わります。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	認知症カフェ(月1回)、しまトレ(週1回)実施し地域交流室にてヘルストロンを無料開放し事業所自体が日常的に交流しています	B級品が八百屋から寄附されたり、出荷基準から外れた畑の収穫物が届き、また事業所も御祭りに寄進するなど近所づきあいが豊かです。また中学生の職場体験を毎年受入れており、生徒の手紙に利用者が返事を書くという情緒溢れる生活リハビリに発展しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ、しまトレに招待し参加していたらしている。認知症サポーター養成講座を地域包括とともに定期的に開催し地域の人に活かしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者状況や行事または解決すべき課題を報告しています	市役所、地域包括支援センター、自治会長、地区長、民生委員、近隣住民などのメンバーを揃え、隔月開催に至っています。地域からの興味関心が高く、事業所が何がしかのイベントをおこなうとなれば回覧板に入れてもらえ、本件を通じて円滑なリレーションに結ばれています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市とは出来る限り連携を図りサービスの取り組みを伝えています	オレンジカフェ、しまトレ(しまだ市つ歌りげんき体操)を地域包括支援センターの依頼で引き受け、どちらも毎回20名前後の参加者を得て盛況で、島田市民のコミュニティ・筋力・体力アップへ貢献しており、行政の期待に十二分に応えています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員で話し合い身体拘束はしない介護を目指し行っています	昨年度4月の法改正に則り、指針作成及び身体拘束廃止委員会の設置、委員会開催、研修会と実施して、要件を整えています。特に研修会は何度となくおこない、ややリード気味の職員もいますが、総じて思いやりある対応であることを視認しました。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が内外研修への参加、より一層の意識強化へ努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修参加を促し資料配布、制度の有効活用を心がけています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者より説明を行い、同意を頂くまでしっかり対応しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族への運営推進会議の参加を依頼し、上方収集を図るとともに玄関に意見箱を設置しています	毎日が2名、1日おきが1名と頻回な面会がある一方で、遠方なことから年1回程度の家族もいて、会話の機会は様々ですが、事業所では食事提供もあるイベントに年2回家族を招き親睦を図っています。参加家族が50名余と増えてしまい、縮小せざるを得ない程の賑わいです。	遠方の家族もいますので、1ヶ月の利用者本人の様子を書面で届けることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月フロア会議等を行っています	リーダー会議、フロア会議が毎月開催され、職員からは「次はこの内容で話し合いたい」と随時管理者に積極的な進言があり、また会議では「新人さんにはこういったマニュアルが必要なのは？」といった建設的な意見も多く上っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	フロアリーダーを中心に指導と状況把握を行っています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・内部研修を行い、アッセッサー等により知識や技術の向上に努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症カフェを通じて情報交換や交流を図り向上に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活内容や趣味を家族より確認し細やかなサービスに心がけています（具体的には食事提供）		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人やご家族様より今までの生活状況を確認しケアに活かしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の意思、家族からの情報を基に相談に応じています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	行事やレク、日々の食器洗いや掃除等を通して共に支えあう関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	担当者会議や受信への付き添いに力を入れています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人の面会が定期的にあります毎日来られる家族もおられ関係が途切れないよう支援に努めています	ヘアのセットアップとメイクを職員に手伝ってもらって孫の結婚式に出かけたり、持ち込んだ仏壇に向かって毎日お経を唱える人もいます。お弁当持ちで訪れる家族や、面会の度に自室で本人の好きな珈琲を飲んでいる等、在宅の頃と変わらずの暮らし向きが見られます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係が悪くならないようにまた孤立しないように、着席位置を考慮し必要に応じて席替えをしています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後のご家族、本人の経過を配慮し、相談や支援に努めています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限り本人・ご家族の相談(買い物・夕食等)の意向に沿えるように対応します。また外泊・外出の機会を作るなどしています	「何か心配なことない?」「食べたいものある?」と、随時利用者の意向を尋ねることは職員の一つの仕事として浸透しており、確認できたことや新たな発見は「申し送りノート」に記録され、職員間で共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご家族・ご本人から情報収集させて頂きサービス提供に活かし馴染みのある暮らしに近づけるため家で利用していた物を持って来ていただけるようお願いしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の日々の状態をご家族に定期的に報告し暮らしの現状把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議にてご本人・ご家族の意向を聞き、フロア一会議にて職員からの意見を聞きみんなで計画を作成しています	現在各ユニットに1名ずつ計画作成担当者がいますが、事業所全体で2名なため、現在1名が実践者研修に参加中で、本年3人目が誕生する予定です。サービス担当者会議は家族の意向に副って日程を決めているため、ほとんどの家族参加が叶っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を職員間で情報の共有を図り実践に活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	無料による病院への送迎やご家族の面会に対しての柔軟な対応・サービスの多機能化に取り組んでいます		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の夏祭りに参加できるよう自治会に協力していただき、暮らしを楽しむことができるように支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連携を図りご本人・ご家族の希望を尊重し支援しています	全員が従来のかかりつけ医を続けており、家族が通院介助をおこなうものの「受診記録」もつくり、職員と情報共有しています。普段事業所が直接関わることはありませんが、大抵の主治医が看取りの場合も協力を申し出てください、良好な関係を築いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師のため、常時入居者の状態を把握しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な訪問・入院時介護サマリーを作成し医療との連携を図っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人・ご家族の意向を伺い主治医の意見を踏まえて支援に取り組んでいます	看取りをおこなう事業所として契約時にも書面を介して家族に説明しており、開設から2名のお見送りをおこなっています。職員は皆前職で経験があり、心配な点や課題はないとしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを定期的に確認し、AEDの操作確認など実践力を身に付けるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難場所として市の指定を受けており、昼夜を問わず地域との協力体制を築いています。去年は東町地区社協より防災グッズの支援金を頂きました	年2回法定訓練は利用者も参加していますが、夜間想定の実績はなく、本年度初実施を予定しています。代表者が住民で、かつ民生委員ということもあって、地域とは有事の協力体制の基盤は在り、また事業所としても防災福祉施設として島田市の指定を受けています。	備蓄の棚卸表(消費期限等)、職員の体験メニューの実施頻度チェックなどが整備されることを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重した声かけ、プライバシーを配慮して入浴、排泄時気を付けています。露出を避けた対応・状況により同性により介助を行っています	「テレビが…」と目を細めただけで、「あっそうだったね」と照明を落としたり、デザートスプーンでカレーを食べてしまったのを見て、そっと洗って戻したりと、少しの時間の中にも常日頃から個々の要望に耳を傾け、気配り、心配りを重ねてきていることがよくわかる職員集団です。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるよう個別にかかわり支援をこなっています。年1回誕生日にはご本人希望の場所などへ行き支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人に必ず確認しご本人のペースでご本人お過ごしたいようご希望に添えるよう対応しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え等は希望を聞きご本人に選択してもらい、身だしなみも声掛けにてご本人が行っています。定期的な理美容の依頼なども支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の意向を確認しつつ職員と一緒に食事の準備、片付け、外食レク等を行っています	BBQでは24人前の肉があつという間に消えてなくなった日もあり、利用者は健啖です。カレーライスの付け合せのらっきょや、デザートの梅ゼリーは皆で漬けた思い出の献立と成り、また調理専任者がプチトマトの湯むきまでおこなっていて、配慮ある食事が提供されています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記入し把握しています。月1回体重測定等をし健康管理に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアではご本人の状態に合わせて歯ブラシまたはスポンジブラシを使用しています。うがいのできない方には歯磨き粉ではなくお茶を利用して清潔を保持しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックシートを各々用意し排泄リズムを把握し定期的にトイレ誘導、声掛けを行っています。安易に紙おむつを使用せず自立に向けた支援を行っています	97歳となる本人と家族の希望に職員が応えて、2人介助から始めてテープ式オムツが紙パンツとなったケースを始め、向上した例は少なくありません。便秘は野菜を中心とした食事や島トレ、足こぎペダルで改善を図っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状態を記録し排便がない場合水分、食事等で調整を行い、それでも排便がない場合は医師・看護師の支持にて内服薬で調整しています。毎日散歩に行き腸管運動をさせています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	皮膚状態に合わせ個浴・機械浴を決め、週3回の入浴を目安にご本人の希望を伺い入浴剤の選んで頂き意向に沿った入浴の順番を決め個々に沿った支援をしています	週3日を目安にする入浴は、一人ひとりが何種類もの浴剤から選ぶこともできて、愉しめるよう工夫されています。重度化となっても2人介助で湯に浸かる歓びが保たれ、1階には機械浴も備わり、また拒否にも職員がダジャレで気分を盛り上げて、清潔を保つことができています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に応じ足浴・シャワー浴をして頂くよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2人体制で確認及び日報にチェック欄を作成し必ず看護師が薬の管理をし介護職員が服薬のミスがないよう行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人に希望を伺い、話し合い一人ひとりに役割を持って生活していただけるように施設や居室内の片付け、認知症カフェなどの手伝い、しまトレへの参加などの役割への支援を行っています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節感を感じて頂けるよう外出レクを計画し、利用者様からの希望があった場合、外食、買い物等支援を行っています	散歩では職員との会話に浸り摘んだ花を飾る日もあります。初詣、お花見、航空ショー、BQQ、花火大会、さかなセンターなどが年間計画に位置付けられ、さらに思いつきでアビタ、なぶら市場、アクアス焼津などに出かけ、フットワーク軽く外出支援に取り組んでいます。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望を伺い少額が入った財布をご本人に管理していただいています。ご家族とも相談をし必要な方はキャッシュカードも本人が管理しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の利用者様はご本人の携帯電話を持参していただき、常に手紙や電話で連絡ができるように支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた掲示物を展示し季節感を感じて頂き共有部屋・各部屋の掃除を利用者様に手伝っていただき居心地よく過ごせるよう支援を行っています	手作りの大きな日めくりカレンダーがあったり、季節が伝わるクラフト作品が見られ、活発な暮らしがあることが覗える共用空間です。昨年来から完成が急がれていた畑はすっかり整備され、窓から覗いた風景も見ごたえがあり、最近はいすかの生育が楽しみの一つとなっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間だけでなく一人ひとりの空間の中に居場所への工夫をしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用されていたなじみのものを持って来ていただきご本人が心地よく過ごせるように支援を行っています	自宅そのままの、その人らしい暮らしがあることが伝わる居室もあれば、プラスチックケースが主体ということもあって、部屋の趣は其々です。何か思いついたらしくリビングから自室に戻る姿もあり、フロア全体を自宅とする様子が見られません。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に配慮しテーブルや椅子、浴室、トイレ等個々に応じた環境づくりに努力しています		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2295400143		
法人名	有限会社ジュコウ		
事業所名	あつたか広場一会 2ユニット		
所在地	静岡県島田市東町1116		
自己評価作成日	令和元年6月10日	評価結果市町村受理日	令和元年8月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2295400143-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2295400143-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和元年7月3日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

当事業者の理念でもあります「一期一会」を大切に利用者様だけでなく地域の方々一人ひとりにも多くの人に認知症の予防や啓発ができるよう一昨年から行っている認知症サポーターはもちろん昨年から、認知症カフェや島田市独自で行っている介護予防「しまトレ」を開催し、地域に密着した活動に全力で取り組んでいます。新人育成研修や定期的なミニユニット研修や外部講師による身体拘束や虐待についての研修、外部講習への参加等を積極的に研修を实地し職員の質の向上に努めています。また昨年からアセッサーの資格の習得を2名行っています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

昨年度から畑の整備と職員教育に力を入れていて、教育ではアセッサー2名が誕生の予定となり、畑は花壇と見紛うばかりの美しさです。野菜が届くといった小さな近所づきあいから地区社協との協働事業まで地域と深く関わり、また第三土曜日開催のオレンジカフェには15~20名、毎週実施のしまトレ(しまだ市っ歌りげんき体操)は27名の登録者の半数が常連参加となり、他にも代表者や管理者がキャラバンメイトとして認知症サポーター養成研修を担当したり、障害者雇用の推進など社会貢献に満ち満ちています。職員も「ここはとても働きやすい」と定着していて、その点でも安心な事業所です。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全体会議・フロア会議にて地域密着サービスの意義・事業所の理念について話し合い共有実施につなげている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	認知症カフェ(月1回)、しまトレ(週1回)実施し地域交流室にてヘルストロンを無料開放し事業所自体が日常的に交流しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ、しまトレに招待し参加していただいている。認知症サポーター養成講座を地域包括とともに定期的に開催し地域の人に活かしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者状況や行事または解決すべき課題を報告しています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市とは出来る限り連携を図りサービスの取り組みを伝えています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員で話し合い身体拘束はしない介護を目指し行っています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が内外研修への参加、より一層の意識強化へ努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修参加を促し資料配布、制度の有効活用を心がけています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者より説明を行い、同意を頂くまでしっかり対応しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族への運営推進会議の参加を依頼し、上方収集を図るとともに玄関に意見箱を設置しています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月フロア会議等を行っています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	フロアリーダーを中心に指導と状況把握を行っています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・内部研修を行い、アッセッサー等により知識や技術の向上に努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症カフェを通じて情報交換や交流を図り向上に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活内容や趣味を家族より確認し細やかなサービスに心がけています（具体的には食事提供）		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人やご家族様より今までの生活状況を確認しケアに活かしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の意思、家族からの情報を基に相談に応じています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	行事やレク、日々の食器洗いや掃除等を通して共に支えあう関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	担当者会議や受信への付き添いに力を入れています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人の面会が定期的にあります毎日来られる家族もおられ関係が途切れないよう支援に努めています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係が悪くならないようにまた孤立しないように、着席位置を考慮し必要に応じて席替えをしています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後のご家族、本人の経過を配慮し、相談や支援に努めています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できる限り本人・ご家族の相談(買い物・外食等)の意向に沿えるように対応します。また外泊・外出の機会を作るなどしています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご家族・ご本人から情報収集させて頂きサービス提供に活かし馴染みのある暮らしに近づけるため家で利用していた物を持って来ていただけるようお願いしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の日々の状態をご家族に定期的に報告し暮らしの現状把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議にてご本人・ご家族の意向を聞き、フロアー会議にて職員からの意見を聞きみんなで計画を作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を職員間で情報の共有を図り実践に活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	無料による病院への送迎やご家族の面会に対しての柔軟な対応・サービスの多機能化に取り組んでいます		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の夏祭りに参加できるよう自治会に協力していただき、暮らしを楽しむことができるように支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連携を図りご本人・ご家族の希望を尊重し支援しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師のため、常時入居者の状態を把握しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的な訪問・入院時介護サマリーを作成し医療との連携を図っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人・ご家族の意向を伺い主治医の意見を踏まえて支援に取り組んでいます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを定期的に確認し、AEDの操作確認など実践力を身に付けるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難場所として市の指定を受けており、昼夜を問わず地域との協力体制を築いています。去年は東町地区社協より防災グッズの支援金を頂きました		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重した声かけ、プライバシーを配慮して入浴、排泄時気を付けています。露出を避けた対応・状況により同性により介助を行っています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるよう個別にかかわり支援をこなっています。年1回誕生日にはご本人希望の場所などへ行き支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人に必ず確認しご本人のペースでご本人お過ごしたいようご希望に添えるよう対応しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え等は希望を聞きご本人に選択してもらい、身だしなみも声掛けにてご本人が行っています。定期的な理美容の依頼なども支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人の意向を確認しつつ職員と一緒に食事の準備、片付け、外食レク等を行っています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記入し把握しています。月1回体重測定等をし健康管理に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアではご本人の状態に合わせて歯ブラシまたはスポンジブラシを使用しています。うがいのできない方には歯磨き粉ではなくお茶を利用して清潔を保持しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックシートを各々用意し排泄リズムを把握し定期的にトイレ誘導、声掛けを行っています。安易に紙おむつを使用せず自立に向けた支援を行っています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状態を記録し排便がない場合水分、食事等で調整を行い、それでも排便がない場合は医師・看護師の支持にて内服薬で調整しています。毎日散歩に行き腸管運動をさせています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	皮膚状態に合わせ個浴・機械浴を決め、週3回の入浴を目安にご本人の希望を伺い入浴剤の選んで頂き意向に沿った入浴の順番を決め個々に沿った支援をしています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に応じ足浴・シャワー浴をして頂くよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2人体制で確認及び日報にチェック欄を作成し必ず看護師が薬の管理をし介護職員が服薬のミスがないよう行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人に希望を伺い、話し合い一人ひとりに役割を持って生活していただけるように施設や居室内の片付け、認知症カフェなどの手伝い、しまトレへの参加などの役割への支援を行っています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節感を感じて頂けるよう外出レクを計画し、利用者様からの希望があった場合、外食、買い物等支援を行っています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望を伺い少額が入った財布をご本人に管理していただいています。ご家族とも相談をし必要な方はキャッシュカードも本人が管理しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の利用者様はご本人の携帯電話を持参していただき、常に手紙や電話で連絡ができるように支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた掲示物を展示し季節感を感じて頂き共有部屋・各部屋の掃除を利用者様に手伝っていただき居心地よく過ごせるよう支援を行っています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間だけでなく一人ひとりの空間の中に居場所への工夫をしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用されていたなじみのものを持って来ていただきご本人が心地よく過ごせるように支援を行っています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に配慮しテーブルや椅子、浴室、トイレ等個々に応じた環境づくりに努力しています		